

# よしまい

2025年 春号



きらら浜自然観察公園のクロツラヘラサギ、クララちゃん

## 目次

### 公園の風景

- ・サギじゃないよ . . . . . 1
- ・潜水のエキスパートと言えば . . . 1
- ・ヨシ焼とヨシの話 . . . . . 1
- ぐるっと山口湾 ① . . . . . 2
- みんなのひろば
- 雪の妖精シマエナガだるま . . . 2

### 活動紹介

- ・山口湾をきれいにしよう . . . . . 3
- ・新しい紙芝居、製作中だよ! . . . 3
- ・フジバカマその後 . . . . . 3
- ・振り返り・新年度に向けて . . . 3

発行：「葦の会」機関紙チーム

事務局：〒754-1277 山口市阿知須 10509-53

きらら浜自然観察公園内

電話 0836-66-2030 (FAX 66-2031)

mail [ashinokai.kirara@gmail.com](mailto:ashinokai.kirara@gmail.com)

HP [ashinokai.html.xdomain.jp](http://ashinokai.html.xdomain.jp)

「葦の会」はきらら浜自然観察公園で活動するボランティアグループです。自然を楽しみながら、その素晴らしさを一緒に学び伝えていきませんか？

**会員募集中！（高校生以上）**



# 公園の風景

## = サギじゃないよ =

本当はトキの仲間だけど、「サギ」と名付けられたクロツラヘラサギ。絶滅が危ぶまれていましたが、国際的な保護活動により現在、ようやく6900羽くらいにまで増えました。朝鮮半島など、アジアにしか見られないトキ科の希少な渡り鳥です。

近年では山口湾が本州最北の越冬地となっていて、湾内では最高47羽が観測されています。隣接する当公園にもやって来て、水の中に長いしゃもじ（ヘラ）のような嘴を突っ込み、左右に振って水の中の餌をつかまえる様子がよく見られます。



仲良く羽繕い

公園では、山口湾を「多様な生物を育む湿地の保護」を目的とするラムサール条約への登録を目指し、周知活動を進めています。クロツラヘラサギやズグロカモメのほか、様々な渡り鳥が行き交い、カブトガニ、ベッコウトンボなど希少な生物が暮らす、豊かな山口湾を次世代に残していくために、皆さんも応援してくださいね！



写真：公園ホームページより

## = 潜水のエキスパートと言えば =

公園の淡水池でもおなじみのカイツブリ。大きさは30cm弱、重さは200g前後と小さな体ですが、潜水が得意で、突然潜ったと思うと、ずっと離れた全然違う場所にひょっこりと現れます。すごいスピードで泳げるのは、体のかなり後ろの部分に水かきが付いた大きな脚のおかげです。公園で繁殖してくれたら可愛いひなが見られるのにと、いつも期待してしまいます。



## = ヨシ焼とヨシの話 =

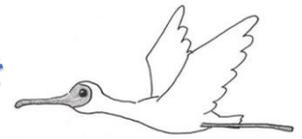
公園恒例の大イベント「ヨシ焼き」が3月1日（土）に行われました。一面ベージュ色だった4ヘクタールのヨシ原の西側半分が炎に包まれました。真っ黒になった焼け跡が、4月半ばにはヨシの芽吹きとともに緑の湿原に変わります。丈が2-3mに達するヨシは、水分を含んだ地中に平べったく長い根を走らせ大群落をつくります。ヨシ原は野鳥や小動物の餌場であり、ねぐらでもありますが、ヨシ焼き前に鳥や動物になった気分を味わえる、公園行事の「ヨシ原探検」も毎回大人気です。

ヨシは水辺に自生するイネ科の多年草で、世界で最も分布の広い植物のひとつです。「葦」という漢字は「ヨシ」とも「アシ」とも読みます。もともと関東ではアシと呼ばれていましたが、関西がアシの音が「悪（あ）し」に通じるのを嫌い、「善し」にちなんでヨシと呼称するようになったそうです。



# ぐるっと山口湾 ①

山口湾を



ラムサール登録へ！

葦の会は公園と共に山口湾のラムサール条約登録を目指しています。でも一体「山口湾」ってどんなところ？このコーナーでは、会員が撮り歩いた写真でその魅力をお伝えしたいと思います。その前に、「ラムサール条約」って何でしょう？

## ラムサール条約とは

国境を越えて移動する渡り鳥の保全のため、イランのラムサールで1971年に採択されました。日本は1980年に加入し現在53カ所が登録されています。

## 登録がなぜ大事？

渡り鳥が集う豊かな山口湾が将来的に開発などから守られます。鳥にやさしい環境は人にも他の生物にもやさしい環境と言えます。（従来の農業、漁業がやみくもに規制されることはありません。）

## 登録されるには？

- ・国際的に重要な湿地であること。
- ・将来にわたり、自然環境の保全が図られること。
- ・地元住民の登録への賛意が得られること。

山口湾がラムサール条約に登録されるには地域の皆様の熱意がとても重要なのです。（次号につづく）

## みんなのひろば

### 雪の妖精シマエナガだるま



2月のある朝いつもの通り起床。おや？なんか明るいぞ？外を見ると一面の銀世界！ノーマルタイヤなので車では仕事に行けないよー！仕方ないのでJR宇部線で行くことに。準備を整えいざ行かん！

ニュースを見たら運転見合せ。気持ちは出かけるモードな

ので雪だるまを作りそのまま常盤公園に行くことにした。雪といえばシマエナガですよ。体力不足と雪量不足で50cmサイズが限界。以前はまたがれるくらいのカモを作ったこともあるんだけどな。

このシマエナガだるまのチャームポイントはサザンカのアイリング。実は後ろ側もしっかり作り込んであるのです。その後4日間、肉ばなれ級の筋肉痛に悩まされましたとさ。

(H・Takao)



皆さまのご投稿をお待ちしています。ashinokai.kirara@gmail.com までお送りください。

# 活動紹介



## = 山口湾をきれいにしよう =

厳しい寒波と寒波の合間の、嘘のようにのどかな春日和となった2月15日(土)、恒例の「山口湾海岸清掃」が行われ、公園と葦の会、親子連れ含む一般参加の方々20名ほどで、阿知須の千鳥ヶ浜の漂着ゴミを拾いました。打ち上げられたペットボトル、空き缶、牡蠣いかだ用のパイプ等のほか、大きな境界杭が何本も放置されていました。また、砂に交じった無数のプラスチックの破片を小さな子ども達も「マイクロプラスチックがいっぱいだね」と言いながら拾っていました。とても全部取り切れるものではなく、2時間ほどで引き上げましたが、集めたゴミは軽トラいっぱいになりました。参加いただいた皆様お疲れ様でした。



## = 新しい紙芝居、制作中だよ！ =

<俳句教室 最多選句>

毎月第2日曜日(14:00~)は葦の会ショートプログラムチームが担当する紙芝居の日。新作紙芝居「チョウトンボのダンス大会」も制作中です。お楽しみに！

・ ここに浮きつ沈みつ鴨の尻 はるか	・ 蝌蚪の紐ぶるりぶるりと揃うほど 道子
--------------------------	----------------------------

1月 2月

## = フジバカマその後 =

公園の樹林帯に沿った西園路に50mほどの距離で細長く続いているアサギマダラ観察ロード。2021年より、葦の会の環境サポートチームと有志とでフジバカマの面倒をみてきましたが、2023年頃より、成長を阻む諸条件(水はけ・水やり・モグラ・根に付く細菌など)が重なり、一旦地面を掘り起こし新しい土入れ等々の対処が必要な状況となりました。現在顔を見せ始めた新芽を園内の観察ロード以外の場所に移植し、公園のあちらこちらをアサギマダラが飛び交ってくれることを期待しながら継続活動に励みます。来園者の方々から頂いて別の場所に植えた苗は根付き、順調に成長してくれているのが救いです。

## = 振り返り・新年度に向けて =

新型コロナの感染法上の位置づけが変わり、山口県に於いてはインフルエンザと同じ扱いとなりました。令和6年度の葦の会は自由な活動が出来るようになり、積水ハウスさんの企画による「夏休み中の学童保育に通っている子ども達に特別な1日を」を手伝える機会を得ました。会としてもこの特別な体験を経験として蓄積し、次の活動に生かしていければと考えています。現在継続している「山口湾をラムサール条約認定地とする」ための活動、新年度の令和7年度は地域の皆さんの理解と共感を頂き、山口市へ、県へ、そして環境省への働きかけをするべく、「NPO法人野鳥やまぐち」と共に、葦の会も一丸となり頑張っていきたいと思っております。

葦の会代表 村田敬子

### <編集後記>

3月も半ばになり、ようやく寒さも一段落した感じですね！この冬の寒さで何回風邪を引いたことやら。待ち遠しい春ですが冬鳥が旅立ってしまうのが寂しいなあ。でも春の野鳥も楽しみです。ウグイスも鳴き始めましたね♪

(らんらん)